

郷土愛はふるさと検定から

教職生活の後半、私は『ふるさと検定』という素晴らしい地域教材のメソッドに出会いました。これは、私の教育実践記録です。

- (1) ふるさと検定とは
- (2) 「津島の達人ジュニア歴史検定」
- (3) 「津島の達人ジュニア選手権」
- (4) 「あま市ものしりジュニア検定
・選手権」
- (5) よりよいテキストをめざして



浅井厚視

(1) ふるさと 検定とは

○ ふるさと検定のはじまり『博多っ子検定』。『京都・観光文化検定』『東京シティガイド検定』

『金沢検定』『姫路文化観光検定』など

○歴史・文化・観光「食」「城」「歴史上の人物」など

「知」を楽しむ内容

○各地域商工会議所が主催し、全国どこでも実施

表1 地域商工会議所主催、日本文化普及交流機構登録ふるさと検定数（単位：実施検定数）

地方名	地域商工 会議所主 催成 平年 2 3 度	地域商工 会議所主 催成 平年 2 7 度	日本文化 普及交 流機 構登 録 数
北海道	1 1	1 1	1 2
東北	7	7	1 5
北陸信 越	8	8	6
関東	1 4	1 6	2 3
東海	1 0	9	1 7
近畿	1 2	6	3 4
中国	1 3	1 3	1 7
四国	5	5	8
九州	1 0	1 1	1 3

(1)-2 愛知県内のふるさと検定の状況

○ 愛知県内のふるさと検定

『尾張一宮検定』(平成19年度)

『なごや400年時代検定』(平成20年度)

『津島の達人歴史検定』(平成20年度)

『半田ふるさと検定』(平成22年度)

『岡崎家康公検定』(平成22年度)

『あま市ものしり検定』(平成22年度)

○ 私とふるさと検定

平成19年度 愛知社会科研究会海部

支部新プロジェクト委員会『海部検定』

平成20年度 『津島の達人 歴史検定』

のテキスト・問題作成



(2) 津島の達人ジュニア歴史検定

○ 平成20年度

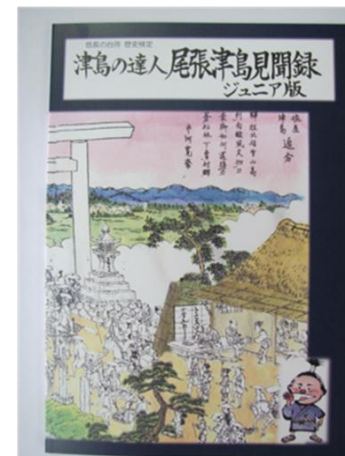
信長の台所歴史検定津島の達人公式テキスト『尾張津島聞録』を執筆、この年より津島の達人歴史検定スタート

○ 平成21年度

『美和ものしり読本』を執筆、美和ものしり検定を実施（実行委員長）

○ 平成22年度

『尾張津島見聞録 ジュニア版』を執筆、この年より「ジュニア歴史検定」スタート
『あま市ものしり読本』を作成、この年より「ものしり検定」スタート

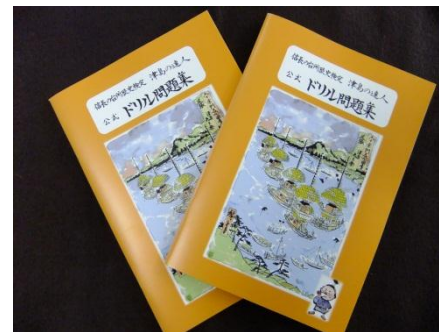


○ 平成24年度

『津島の達人 公式ドリル集』を作成 『あま市ものしり検定ジュニア読本』を作成

○ 平成25年度

『あま市ものしりジュニア検定』出前授業・
『あま市ものしりジュニア検定』スタート



☆ テキスト・ドリル集作成の配慮事項

やはり教材づくりが勝負！

- ① 「津島市」「あま市」のイメージキャラクターをイラスト等に効果的に活用する。
- ② 大切な語句はゴシックで用語・地名等の解説コーナーを設ける
- ③ 節の後半にクイズコーナーを設ける
- ④ 索引(インデックス)を設け、辞書機能を
- ⑤ 歴史こぼれ話など簡単なエピソードを

また尾張地方でも、墓として古墳時代には、方形周溝墓(ほうけいしゅうこうぼ)から前方後方墳(ぜんぽうこほうふん)が造られるようになりました。台が付いたS字状口縁台付甕(じじょうこうえんだいつきがめ) (S字甕) も発掘されています。

* 方形周溝墓・・・溝に囲まれた四角形の高まりをもった墓

* 前方後方墳・・・前も後ろも四角形の形をした古墳



パレスとは、宮殿という意味の言葉で、エーゲ海のクレタ島(ギリシア)の宮殿で見つかった土器と似ているからこのように名付けられました!

【尾張津島見聞録 ジュニア版 記述例】

【津島の達人 ジュニア歴史検定の約束】

- ① 1月12日～23日の間に各学校で実施する。(平成27年度)
- ② 市内8小学校6年生全員を対象とする。(対象611名)
- ③ 当日テキストの持ち込みを認める。事前に社会科の授業等で、テキスト最終章の「模擬試験」を学習する。また冬休みにテキストを6年生に貸し出して家族でテキストを読んだり、模擬試験を解いたりする。
- ④ 採点は『尾張津島見聞録ジュニア版』執筆・編集委員会で行う。
- ⑤ 検定終了後はジュニア版のテキストを各学校の図書室で保管し、来年度にそなえる。

津島の歴史 学べる一冊



商議所 小中学生向けに発行

子ども向けに津島の歴史や文化をまとめた「津島の達人 尾張津島見聞録ジュニア版」(B5判、21頁)を、津島商工会議所が発行。また、市のメーキングセンター「じ丸」が

編集を担当したのは、海部地域の小学校で教える社会科教師ら十四人、小学六年、中学一年を対象とし、大人も楽しめるよう六月から作業を進めた。全九章で、弥生時代から現代までの歴史から津島神社や尾張津島天王祭を伝統文化を紹介している。

社会科教諭ら編集 クイズ交え楽しく

説明では、現在の愛西市津島町から約十キロ南西の津島に広がっており、じ丸が「歴のきま」は、運動場(一辺が二百メートル)と「二」間のコンクリート敷の庭園で遊ばせたり、春末にはお祭りの「機織り」も体験。執筆・編集委員長を務めた津島市立小の浅井厚視校長(右)は「子どもから大人まで、津島の歴史の面白さを再発見してほしい」と話している。

目指せ 津島の達人 小



津島市の歴史や文化に関する問題をまとめた、子ども向けのドリルが完成し、津島商工会議所などを通じて発行委員会が市内の小・中学校に五十冊ずつ贈った。冬休みに勉強し、来年一月月中旬に開く「当地検定『津島の達人ジュニア版』」に挑戦してほしい。(稲垣時太郎)

海部地域の社会科教諭八人が五月から執筆を担当。A4判八十頁、全四章に三百七十問を収めている。易しい問題から難問へと段階を踏んだ内容に「まじ」は「江戸時代」天王通りにある地蔵堂の千体仏を作った

全12校に50冊配る
社会科教諭ら執筆

人は？(答え・円空)「市内の(空)の小学校がある。(空)そへ八校」などの出題がある。最終章はクイズやパズル形式になっており、楽しく解いてもらう。市のイメージキャラクター「じ丸」が登場する三十四のコーナーも盛り、重要用語や年表、出来事などを執筆・編集委員長を務めた津島市立小の浅井厚視校長(右)は「子どもから大人まで、津島の歴史の面白さを再発見してほしい」と話している。

ジュニア版を作製へ

津島市では、地元歴史には内容が難しく、史をまとめた「尾張」尾張津島見聞録の著者津島商工会議所が、昨年、者の一人尾張市立小津島分校で、一昨年、校の校長稲垣時太郎と、たし、子どもが読め、小学全課程を対象に、

大ヒットの「尾張津島見聞録」



海部地域の若手教師ら 来春にはご当地検定も

津島市では、地元歴史には内容が難しく、史をまとめた「尾張」尾張津島見聞録の著者津島商工会議所が、昨年、者の一人尾張市立小津島分校で、一昨年、校の校長稲垣時太郎と、たし、子どもが読め、小学全課程を対象に、

津島の達人ジュニア版検定の感想
(教師へのアンケート結果より)

- ・子どものみならず教師にも勉強の場となった。
- ・授業で3時間ほど勉強した。多くの子どもたちが熱中していた。

目指せ!津島の達人



「ご当地検定」ジュニア版

津島市の歴史に関する知識を問う「当地検定『津島の達人ジュニア版』」が、市内の小・中学校で実施されている。冬休みに子どもが読んだ六年生が「達人」を目指し、難問に取り組んでいる。(稲垣時太郎)

検定は津島商工会議所が発行した「津島の達人ジュニア版」が、市内の小・中学校で実施されている。冬休みに子どもが読んだ六年生が「達人」を目指し、難問に取り組んでいる。(稲垣時太郎)

市内の小6 難問に挑戦
津島市の歴史に関する知識を問う「当地検定『津島の達人ジュニア版』」が、市内の小・中学校で実施されている。冬休みに子どもが読んだ六年生が「達人」を目指し、難問に取り組んでいる。(稲垣時太郎)

(2) —2 私と『ふるさと検定』とのかかわり

平成19年度	「海部検定」作成（愛社研海部支部新プロジェクト委員会）紙媒体・電子媒体で希望者に配布 ※中日・朝日・毎日新聞掲載
平成20年度	『信長の台所歴史検定尾張津島見聞録』公式テキスト出版
平成21年度	第1回津島の達人歴史検定（一般向 以後毎年実施）
平成22年度	『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』出版 第1回 津島の達人ジュニア歴史検定（小学校6年生 以後毎年実施）
平成23年度	『津島の達人公式ドリル集』出版 第1回 津島の達人ジュニア選手権（西尾張ケーブルテレビによるふるさとクイズ番組 以後毎年開催）
平成25年度	『尾張津島見聞録公式テキスト ジュニア版』改訂・出版 『津島の達人ジュニア検定出前授業』（市内の希望する学校で実施） 『津島の達人ジュニア選手権直前対策ゼミ』（西尾張ケーブルテレビによるテレビ番組）以後毎年収録、放映
平成27年度	『津島の祭検定 公式ジュニアテキスト』出版 『津島の祭検定直前対策講座』（西尾張ケーブルテレビによるテレビ番組）を収録、放映 第1回 津島の祭ジュニア検定を開催 津島の達人ジュニア検定（6回） 検定（4回）

津島の達人ジュニア歴史検定 6年間の変遷

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受検者総数	704	707	668
市内全体の平均点	84.3点	82.8点	82.5点
市内で100点をとった児童数	139人 19.7%	97人 13.7%	114人 17.1%
市内で50点以下の児童数	44人 6.3%	46人 6.5%	58人 8.7%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受検者総数	618	618	611
市内全体の平均点	85.5点	85.7点	81.0点
市内で100点をとった児童数	138人 22.3%	158人 25.6%	96人 15.7%
市内で50点以下の児童数	37人 6.0%	28人 4.5%	52人 8.5%